



元気になれそう

巨大ジブリ展

2023年
4月22日(土) - **6月11日(日)**
松坂屋美術館 (松坂屋名古屋店 南館7階)
 開館時間: 10:00~18:00 (会期中無休)
 ※6月11日は17:00閉館。※いずれも最終入館は閉館30分前まで。
 〒460-8430 名古屋市中区栄三丁目16番1号 052-251-1111 (大代表)



地下鉄名城線「矢場町」駅下車、5番出口すぐ

巨大ジブリ展

元気になれそう



©Studio Ghibli ©Kanyada

2023年 **4月22日(土)** - **6月11日(日)** **松坂屋美術館** (松坂屋名古屋店 南館7階)
 〒460-8430 名古屋市中区栄三丁目16番1号 TEL:(052)251-1111(大代表)

開館時間: 10:00~18:00 (会期中無休) ※6月11日は17:00閉館。※いずれも最終入館は閉館30分前まで。

【主催】中京テレビ放送、松坂屋美術館、中日新聞社 【企画協力】スタジオジブリ・三鷹の森ジブリ美術館 【協力】徳間書店、マクセル、特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構、ヴァレージヴァンガードコーポレーション 【企画制作】ニュートラルコーポレーション 【協賛】NTT コノキュー 【後援】名古屋市
 最新情報は名古屋展公式サイトや公式 SNS でご確認ください。名古屋展公式サイト <https://www.ctv.co.jp/animage-ghibli-nagoya> 公式 Twitter @animage_ghibli



▲名古屋展公式サイト



松坂屋・名古屋店

アニメとジブリ展

スタジオジブリの 原点を振り返る“展覧会”

【作り手と見る人をつないだ雑誌】

本展は、雑誌「アニメージュ」（徳間書店）の1978年創刊当時から80年代に焦点を当てた展覧会です。今から40年以上前、アニメが大きく飛躍した時期がありました。若いアニメファンが熱狂した「宇宙戦艦ヤマト」「機動戦士ガンダム」らの作品。その作り手たちの生の言葉を伝えた雑誌、それが「アニメージュ」です。雑誌がつないだ作り手と見る人のキャッチボールが、今につながる日本のアニメーションの隆盛をもたらしました。



「機動戦士ガンダム」©創通・サンライズ

【高畑勲・宮崎駿と出会った雑誌】

多くのアニメの作り手を見出してきた「アニメージュ」は、二人の才能と出会います。高畑勲と宮崎駿です。「アニメージュ」の連載から生まれた映画「風の谷のナウシカ」。自分たちの納得できる作品作りの新しい場・スタジオジブリの第1作「天空の城ラピュタ」。そして高畑・宮崎両監督そろい踏みの「火垂るの墓」「となりのトトロ」へ。「アニメージュ」は雑誌でありながら、二人の作品を送り出し、また彼らの言葉を見る人に伝え続けたのです。



「風の谷のナウシカ」セル画と色指定 ©1984 Studio Ghibli・H

【もうひとつのスタジオジブリ誕生物語】

かつて雑誌作りとアニメーション映画制作が非常に近い時代がありました。本展覧会では、雑誌「アニメージュ」が多くのアニメ作品の誕生と発展に果たした役割を豊富な誌面展示と貴重な制作資料とで振り返ります。そのことで、「アニメージュ」を作った人たちが、同じ精神でスタジオジブリを立ち上げ、現在まで作品を送り届けているということを示します。



アニメージュとは・・・

1978年に創刊した日本初の本格的商業アニメ雑誌・月刊「アニメージュ」。アニメ雑誌のパイオニアとして、それまで作品の裏方として脚光を浴びることのなかった業界内部、作家や制作に関わる人をクローズアップしてきました。「風の谷のナウシカ」のアニメーション映画化でスタジオジブリ設立のきっかけとなった本誌は、創刊45年を迎える今もアニメとファンをつなぐ橋渡し役です。

本展で『初公開』となる貴重な資料やセル画。 立体展示物を含む、約400点以上で構成。



中吊り広告



「風の谷のナウシカ」風使いの腐海装束

造形作家・竹谷隆之氏による 「風使いの腐海装束」、 「朽ちゆく巨神兵」のジオラマを展示！



「風の谷のナウシカ」朽ちゆく巨神兵のジオラマ



当時マクセルのビデオテープCM用に宮崎駿監督がデザインした飛行艇模型「ワンダーシップ号」を公開！

ワンダーシップ号模型



「風の谷のナウシカ」展示コーナー 貴重なセル画や資料が多数展示されています



「天空の城ラピュタ」のジオラマ



表紙に入って
写真を
撮ろう！

フォトロケーション

XR City

「アニメージュとジブリ展」
AR 特別企画
in 松坂屋名古屋店
「アニメージュとジブリ展」との
コラボコンテンツがXR Cityに登場

NTT XR GOONOO

【音声ガイド】 ガイド専用機/アプリ：650円(税込)

ナウシカ役 声優の島本須美が担当

「風の谷のナウシカ」主人公ナウシカ役声優の島本須美さんが、当時のアニメにまつわるエピソードやウラ話を語りかけてくれます。あのナウシカの名セリフも収録！

《島本須美さんプロフィール》声優、ナレーター。映画「風の谷のナウシカ」の主人公ナウシカ役のほか、アニメや洋画の吹き替えなど多くの作品でヒロイン役や清純な少女の声を担当。特に宮崎駿氏関連の作品には多く出演し、「ルパン三世 カリオストロの城」でのクラリス役、「となりのトトロ」のサツキとメイの母親役、「もののけ姫」のトキ役などで活躍。他にも、「名探偵コナン」、「らき☆すた」など、幅広い作品に出演している。



- 入館料** (税込)
- 【一般・大学生】 …… 1,500円 (1,400円)
 - 【中高生】 …… 1,000円 (900円)
 - 【小学生】 …… 600円 (500円)

Boo-Woo チケット、電子チケット「アソビユ-」、ローソンチケット (Lコード: 43602)、チケットぴあ (Pコード: 686-301)、イープラス、セブンチケット、CN プレイガイド 0570-08-9999 (オペレーター対応)、楽天チケット、松坂屋美術館 ほか主要コンビニエンスストアなどでお求めいただけます。詳細は名古屋展公式サイトでご確認ください。

※()内は前売料金および、株主ご優待カード、大丸松坂屋お得意様ゴールドカード、大丸松坂屋カード、大丸松坂屋友の会カード、プライダールサークル会員証、大丸・松坂屋アプリ会員サファイアランク以上の画面提示によるご優待料金。 ※未就学児は無料。 ※中学生は要学生証。

※本イベントのグッズコーナーへは展覧会にご入館いただいたお客様のみ販売とさせていただきます。 ※一部、人気の商品についてはご購入点数を制限させていただきます。

●展覧会の中止や会期が変更となる場合がございます。 ●入館の際、マスク着用、アルコール消毒、検温をお願いいたします。 ●混雑時には入館制限する場合がございます。



1979年11月号表紙用セル画「ルパン三世 カリオストロの城」 原作:モンキー・パンチ ©TMS